



西河 巧

農業振興と町の活性化

問 能勢町における、農業の現状と今後の展望について問う。

答 近年、コメの作付面積は500ha前後で推移しており、また、野菜類の生産高については、本町の特色でもある少量多品目栽培であることから個別農産物の生産高を掌握することは困難である。今後とも少量多品目栽培を継承しつつ、四季を通じた新鮮な野菜が提供できるよう努めていく。

問 農家の高齢化や後継者不足の現状を踏まえ、今後就農人口の増加や人材育成など、本町の取り組みについて問う。

答 農地利用集積円滑化事業の活用により、規模拡大意欲のある農業経営体への農地利用集積の促進及び、農業経営力強化につながるよう関係機関と連携を図り、農業経営者を増やす取り組みを進めていく。

問 シカやイノシシなどによる被害が拡大しているが、本町の取り組みについて問う。

答 本町の農業振興上、最も重要な課題であると認識しており、平成28年度には、農地と隣接する林縁部の刈り払いを行う緩衝帯整備事業を野間稲地、柏原の2地区で実施し、電気柵など合わせて約20haの農地を守るための資材補助を行った。有害鳥獣捕獲事業では、シカ125頭、イノシシ89頭の捕獲を実施した。



能勢町議会の日程に関するお知らせ

能勢町議会は、「能勢町議会の会期等に関する条例」を制定し、臨時的な開催を除き年間を通じ下記の日程で開催されます。

- 3月定例会議 3月4日及び同日以降の同月内における議長が別に定める日
- 6月定例会議 6月15日及び同日以降の同月内における議長が別に定める日
- 9月定例会議 9月10日及び同日以降の同月内における議長が別に定める日
- 12月定例会議 12月10日及び同日以降の同月内における議長が別に定める日

※上記定例日の初日が土日祝にあたる場合は、当該定例日以後の最初の開庁日から開催されます。

能勢町議会は、地方分権と地方自治の時代にふさわしい町民に身近な議会及び能勢町議会議員の活動の活性化と充実をめざし、議会が町民の信託に的確に応え、町民全体の福祉の向上及び町政の発展に寄与するため、一丸となり取り組みます。

ぜひとも、お気軽に傍聴にお越しください。

用語説明

請願：住民や団体が議会に対して、町や国・府の業務に関する希望を文書で述べることです。請願書の提出には、その趣旨に賛同する紹介議員1名以上の署名が必要となります。受理された請願書は、議会において審議され採択又は不採択の決定がされます。